

## 答 辞

本日は私たち修了生のために、このような盛大な式典を挙げて頂き、まことにありがとうございます。また、お忙しい中ご臨席下さいました学長先生をはじめ、諸先生方、ならびにご来賓の皆様方に修了生を代表して、心より御礼申し上げます。

入学してから6年が経ちますが、東京農工大学の学歌を聞くと、入学式のことを思い出します。当時は将来の目標はまだ漠然としていて、新たな学生生活にただ胸を膨らませていました。しかし今日はあの頃にはなかった決意と希望を胸に卒業式を迎えることができました。

私達は大学生活の中で、多くの人と出会うことによって、多くのことを学び、自分の世界を広げ、成長することができました。研究室では先輩方、先生方から、研究の枠を超えて様々なことを学び、自分の道を見つけることができました。またサークルや学園祭では様々な人々と出会い人間性を深めることができました。そして、同じ学科の友人とは、共に辛いことや喜びを共有し、一生の友達と呼べる関係を築くことができました。長いようで短かった大学生活は今日で終わり、明日からは東京農工大学修了生として、新しい生活が始まると同時に、今まで励まし合ってきた友人達、ご指導いただいた先生方ともお別れとなり、不安もあります。しかし学生時代に学んだこと、経験したことを支えに、自分の選んだ道を責任を持って歩んでいき、素晴らしい人生を送ることが、自分を支えてくれた方々への恩返しになると考え、精一杯努力していきます。

最後になりましたが、今までご指導して下さいました先生方、学生生活を支えて頂いた職員の方々、6年間ずっと一緒に勉強してきたクラスのみんなに心から御礼申し上げます。そして、今日この日まで私達を育て成長を温かく見守ってくれた両親に、深く感謝いたします。

本日は本当にありがとうございました。皆様方のさらなる御活躍を心よりお祈り申し上げます、感謝の気持ちを込めて、答辞とさせていただきます。

平成21年3月25日

修了生代表

農学府 応用生命化学専攻 2年

安達 悠